



北山田小だより

横浜市立北山田小学校 592-0061

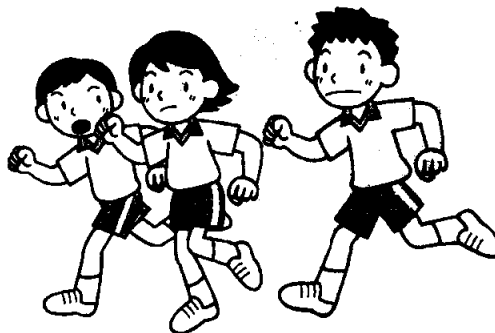
「新しい年を迎えて」

校長 中村レイ子

新年明けましておめでとうございます。
皆様おそろいで素晴らしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。昨年創立10周年記念事業をはじめ、さまざまな教育活動にご支援・ご協力を賜りありがとうございました。教職員一同、感謝の気持ちを忘れずに新しい年も子どもたちと一緒に楽しい学校づくりに努力して参る所存でございます。
本年も、保護者・地域の皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、冬休みのある日、暇を見つけて久しぶりにある詩集を開いていました。そして、井上靖さんの「出発」という詩を見つけました。

ぼくは
マラソン競争で
白いスタートラインにならぶ時が好きだ。
軽くこしをうかせ
きっと遠い前方の山をうかがう
あのしゅんかんのぴんと張った気持ちが好きだ。
やがてふえは鳴りひびくだろう。
ぼくたちはかけ出す
校庭を一周し、町をぬけ、村を通り、おかをこえる。
友をぬいたり
友にぬかれたりする。
みなぎってくる
いろいろの思いを静かに押さえて
先生のふえの合図を待っている
あの不思議に静かで、豊かな、出発の時が好きだ。



新しい年を迎えて、スタートラインに並んで待つあの緊張感に似たものを感じています。子どもたちにとって学びの楽しさをたくさん経験してほしい、人と人のふれあいをもっと体験してほしい。そのために学校は何をしなければならないのか、何ができるのか。そんなことを考えました。

やがて笛は鳴り響きます。新しい年のスタートです。学校が動き出し、子どもたちの学習が再開されます。そして、4月には新年度が始まります。いろいろな笛が鳴り響きます。動き出したら町や村や丘を通り過ぎていくことでしょう。

それが学ぶ楽しさだったり、人とのふれあいだったり・・・と考えると、この詩は子どもと私たちのことを表しているかのようによい思えます。

私たちがやるべきことは何か、マラソンコースを整備して子どもたちがいろいろな経験をできるように仕組んでいくこと、難しいところや易しいところをつくってあげること。そのためには一人一人の子どもをよく知らなければなりません。一人一人が何を求めているか知る必要があります。そんな、一人一人の子どもが安心して過ごせる楽しい学校にしていきたいと考えています。